

令和2(2020)年度 事業者、保護者アンケート 集計、分析結果 2021.3.19 デイサービスにじのこ給田

		事業者アンケート (職員22名中22名回答)		保護者アンケート (保護者32名中30名回答)		
		はい 15名中	はい 30名中			
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	27	①	共通項目 職員同士に認識のズレがあると思うもの 保護者と認識のズレがあったと思うもの
	2	職員の配置数は適切であるか	12	28	②	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	28	③	
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	10			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	30	④	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	30	⑤	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	10			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	⑥
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	29	⑧
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	29	⑦
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	30	⑨
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	10	⑩
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	26	⑪
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	30	⑬
	35	個人情報に十分注意しているか	15	30	⑭
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	29	⑫
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	15	29	⑮
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	29	⑯
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15		

▶総合結果

1	保護者との認識のズレがあったと思われるもの	2020年度の結果
	なし	なし

	職員同士に認識のズレがあったと思われるもの	2020年度の結果	改善点・その他
2	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	自己評価表の結果を評価・分析して改善点を見出し、次年度のデイサービスの目標に組み入れて取り組んでいるが、全部の非常勤職員に伝わっていないということがわかった。	自己評価表自体がPDCAサイクルの取り組みであり、日々の支援に組み入れていること、職員自身が実行しているということを理解してもらい、よりいっそう主体的に支援に取り組んでもらうよう伝えていく必要がある。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	「標準化されたアセスメントツール」とは何かよくわからずに答えた職員が多かったようである。面談の際に保護者から聞いた発達検査の結果を支援の参考にするにはある。	本人やまわりが困っていることは何かを日々の記録や行動観察を基に保護者と検討し、環境を整え、本人の意思に寄り添うことで改善され、成長する場面が多く見られるので特に発達検査等のアセスメントツールは使用していないが、今後業務に活かせるツールがあれば活用していきたい。
	⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗	非常勤職員が「よくわからない」「回答なし」の項目について、概要を伝えていく必要がある。	放課後等デイサービスの仕組みや役割について、ガイドライン等を通して、非常勤職員にも広く理解してもらえよう、ミーティングや勉強会等を設定していく。

<2020年度の結果>

	2020年度の改善目標について	結果
3	① 利用者や家族のニーズをきちんと把握し、要望については丁寧に話し合っていく。	コロナが流行してからは原則感染防止のため、追加利用希望を受け入れしていない。緊急事態宣言で学校が休校になった際には、追加利用希望について保護者と利用者のニーズを汲み取り、話し合いながら対応し、三密を避ける等感染防止に努めつつ、最低利用人数5名までに設定して開所した。2021年度も継続して目標とする。
	② 活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。	活動プログラムはテーマを決めてイメージを持ちやすくし、利用者の課題を組み入れながらアートや運動遊び等色々な活動に発展させることができた。職員からもいろいろなアイデアが出てモチベーションを上げることができた。継続して目標に取り入れていく。
	③ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っていく。	学童クラブとの情報共有を行い、具体的な支援につなげることができた。また送迎バスでの利用者の様子等変わったことがあった際は連絡をいただいている。継続して目標にする。

<2021年度の改善目標>

	今後の課題について	課題に対する対応策(改善目標)
目 標	① 利用者や家族のニーズをきちんと把握し、要望については丁寧に話し合っていく。(継続)	追加利用の希望については、放課後等デイサービスの定員についての仕組みや安全面について十分説明し、緊急性が高いと思われるものに対しては柔軟に対応し、きちんと保護者と話し合いながら進めていく。
	② 活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。(継続)	利用者の個別の課題や目標を、打ち合わせや振り返りの時間に職員全体で把握し、支援内容を活動プログラムの中に具体的に組み入れて設定していく。
	③ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っていく。(継続)	特別支援学級に通っている利用者や、ヘルパーや相談支援を利用していない利用者の連携について、社会資源を探りながら検討していく。
	④ 職員それぞれが、ガイドラインに沿って主体的に支援できるよう事業所全体で取り組んでいく。(新規目標)	放課後等デイサービスの仕組みや役割について、ガイドライン等を通して、非常勤職員にも広く理解してもらえるよう、ミーティングや勉強会等を設定していく。